

石油製品・石炭製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	2	8~9	事務所の蛍光灯が切れていたため、事務机の上へのぼり、交換しようとしたところ、足を踏み外して、床に転落してしまった。	54	379	1	30 ~ 49
2017	2	17~18	製造所2Fペール缶用の原料を溶解する場所で、原材料の紛体物を細かくしようと攪拌機にペール缶を置き、紛体物を入れた。他の作業者に声をかけ攪拌機の開始スイッチを押してもらったところ、手袋をはめていた右手が攪拌機に触れてしまい、回転体に右手が巻き込まれ右手中指を負傷した。	26	162	7	100 ~ 299
2017	2	6~7	機械の清掃・整備中に回転している機械のプーリーに右手が引っ掛かり（軍手）親指第一関節を切断・骨折した。	51	169	7	30 ~ 49
2017	4	18~19	回転するローラーに手に持っていたウエスが巻き込まれそうになり、それを引っ張ろうとしたところウエスと共に腕を機械に挟まれた。	19	163	7	50 ~ 99
2017	4	10~11	10tダンプの荷台上にて合材、シートを掛けている時に最後部にてシートを引っ張った時に体勢を崩し転落した。	48	921	1	1~ 9
2017	5	6~7	製造タンク17番において水溶性切削油を製造中、粉末添加剤を投入していたところ、製造タンク内の油が飛散し、両目に入った。	36	529	4	30 ~ 49

2017	5	16~ 17	被災者は、工場22棟内30番ヤード付近で、ベルトコンベア周辺の異音に気付き、タラップを登り、右手で階段の棒を握り左手でテールプーリーとベルトの間に挟まっていたブリケットを取ろうとした。機械を停止せず作業を行った為、左手にはめていた皮手袋がテールプーリーとコンベアベルト間に巻き込まれ、そのまま腕も巻き込まれた。	26	224	7	50 ~ 99
2017	5	22~ 23	2系集塵機装炭車側ダストホッパー内ろ布点検作業中、ダスト（集塵粉）排出口よりろ布を引き出そうと寄ったところ、右足の長靴内に火残りのある集塵粉が入り被災者した。	59	529	11	300 ~ 499
2017	7	8~9	第一製造工場内において、フォークリフトで用意したパレット積み原料ドラム2本（1本230kg）を降ろす際、ドラムを斜目に押した時、腰に激痛が走った。	43	611	19	30 ~ 49
2017	7	0~1	本体スチーム洗浄後に点検し、点検デッキより猿梯子で降りるとき、手すりに握りにくい部位があったためバランスを崩して転落し（約1.5~2m）、背中と腰を強打した。	30	371	1	300 ~ 499
2017	7	14~ 15	午前中は当社工場内で通常の仕事をし、午後からは炎天下で、工場外の草刈りした草をまとめフォークリフトで焼却場に持っていく作業をし、しばらくして交代して草刈りを始めた。その後10分位で気分が悪くなり、事務所へ戻り、給水場で飲み物を飲もうとしたところ、容態が悪くなり、熱痙攣らしい症状を起こして倒れ、救急車で病院へ運ばれた。	42	715	11	30 ~ 49
2017	10	9~ 10	建設資材を搬入するベルトコンベア終端部で、ベルトを稼働させて調節している時、ベルコン端部に資材のカスが付着しているのが気になり、調整用のスパナで除去していたが、細部がスパナでは取りきれなかったため、右手でベルコンの下のカスを除去しようとした際、右手人差し指と中指を、幅1センチ程度のすき間に挟まれて、裂傷、骨折した。	64	224	7	1~ 9
							50

2017	10	14～ 15	トイレの清掃中、個室に入ろうとした時、足が滑り段差につまずき転倒した。胸と足を骨折し、人工関節のゆるみが進行した。	68	413	2	～ 99
------	----	-----------	---	----	-----	---	---------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html